

広報

No. 172

くらみ

昭和62年10月15日

発行・編集 国見町企画課

※※※※※
 ※※※※※
 ※※※※※
 ※※※※※

昭和61年度 各会計決算	2~4
カメラルポ~小学校スポーツ交歓会	5
愛の献血に126人	6
ふるさとの文化財	7
おしらせ	8~9
公民館だより	10~11
わだい	12



'87
10月

国見製菓株式会社

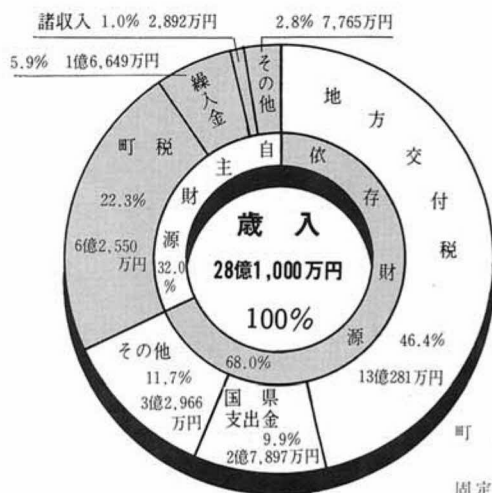
菊池早苗さん(20歳) (大木戸宇海道上10 勝雄さんの長女)

国見製菓は、昭和53年4月に創業し、現在社員はパートを含め65人。「ゆべし」「ずんだまんじゅう」「だてがっせん」「くるみクッキー」「ワインホワイトチョコレート」など、38種類の観光みやげ品を製造し、主に東北、関東方面に出荷しています。

菊池さんは、高校卒業後昭和60年4月に入社、包装と製造部門を担当しています。「お菓子づくりが大好き」で手芸が趣味という彼女。明るく活発なお嬢さんで、みんなから愛されています。

一般会計決算の概要

家 計 簿

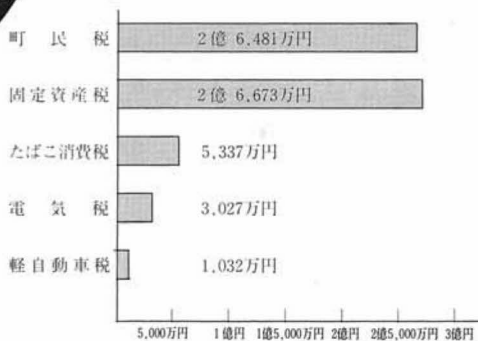


教育費

項目	金額
(学校教育)	
・ 県北中改築関係費	556,680
・ 学校給食の充実	44,377
・ 幼稚園運動場敷地購入費	30,327
(社会教育)	
・ 公民館施設管理運営費	14,010
・ 各教育、講座、活動費	1,270
(社会体育)	
・ 施設の管理、運営費	14,299
(文化振興)	
・ 藤田城跡空堀購入費	14,669
・ 文化財保護、保存対策	2,637

わたしたちが納めた税金はどんな役割を果たし、どのように使われているのでしょうか。
昭和六十一年度の一般会計及び特別会計の決算が九月定例議会にて認定されました。
六十一年度は、六十・六十一年度二か年計画の県北中学校校舎改築事業が完了し、また、記録的な集中豪雨となった八・五水害の災害復旧に努めました。その結果、歳出総額は、二十七億三千九百六十六万円となりました。一方、歳入総額は、対前年比三・九%増の二十八億一千万円となりました。
今月は、主に一般会計の使いみちについてお知らせいたします。

●町 税



総 務 費

単位 千円

・ 地域への行政推進、連絡調整	6,202
・ 広報「く に み」の発行	1,616
・ 集会所の建設、改築補助	1,487
・ 防犯灯の新設及び維持管理	2,389
・ 交通安全対策	3,900



▲60・61年度二か年連続で完成した県北中学校



▲宮崎住宅団地を造成（特別会計）

昭和61年度

町の



民生費

- ・保育事業.....66,670
- ・児童手当交付金.....20,832
- ・重度心身障害者医療費扶助.....7,128
- ・長寿を祝う事業（敬老会、敬老祝金）.....2,877
- ・老人クラブ活動の助成.....1,005

商工費

- ・商工振興事業補助金.....4,000
- ・中小企業経営合理化預託金.....4,000
- ・商工会館建設費補助金.....2,500

衛生費

- ・公立藤田病院組合負担金.....177,277
- ・伊達地方衛生処理組合負担金.....37,893
- ・老人保健特別会計繰入金.....22,407
- ・ゴミ収集業務委託.....7,920
- ・一般健康診査.....7,797
- ・胃ガン検診.....3,244
- ・子宮ガン検診.....1,914
- ・結核検診.....1,809

労働費

- ・労働者金融対策預託金.....2,000
- ・未組織労働者金融対策預託金.....620

農林水産業費

・種子センター整備事業	13,812
・水路改修設計委託、工事及び用地費	5,951
・広域営農団地農道整備事業	4,259
・町営牧野飼料基盤整備事業	3,000
・農道及び水路等整備原材料費	2,998
・間伐促進総合対策事業	2,468
・青果物価格補償事業	2,405
・松くい虫防除事業	1,687

消 防 費

・伊達地方消防組合分担金	67,700
・消防団員報酬及び報償費	7,010
・消防団機械器具の整備 (消防車購入、備品購入)	3,064

土 木 費

(道路、橋梁、水路等の整備)

・道路改良工事	54,012
・道路舗装工事	53,141
・道路台帳整備	20,500
・水路側溝整備	16,521
・道水路資材費	6,988
・道路維持補修	5,977
・橋梁拡巾工事	4,026

(下水道の整備)

・浄化センター周辺対策事業費	49,620
・公共下水道基本計画策定業務委託料 (公営住宅対策)	3,700
・公営住宅修繕費	4,019

災害復旧費

・公共土木施設災害復旧費	48,762
・農林水産業施設災害復旧費	13,144

水道事業決算額

収益的 収 入	営業収益	1億 4,468万円	
	営業外収益	665万円	
	計	1億 5,133万円	
支 出	営業費用	7,805万円	
	営業外費用	2,105万円	
	計	9,910万円	
資本的 収 入	収入	0円	
	支 出	建設改良費	0円
		企業債償還金	5,614万円
		計	5,614万円

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額 5,614万円は過年度分損益勘定留保資金 934万円と当年度分損益勘定留保資金 680万円及び減積立金 4,000万円を補てんした。

特別会計決算額

会計名	歳 入	歳 出	差 額
国民健康保険	6億 5,230万円	6億 1,481万円	3,749万円
老人保健	4億 5,566万円	4億 5,566万円	0円
貝田簡易水道	1,349万円	1,271万円	78万円
育 英	582万円	528万円	54万円
入山財産区	275万円	267万円	8万円
藤田財産区	192万円	168万円	24万円
大木戸財産区	51万円	13万円	38万円
湯水対策施設	4,723万円	3,058万円	1,665万円
公共下水道	8,007万円	8,002万円	5万円
宮後住宅団地	1億 6,016万円	1億 5,984万円	32万円



▲「たのむわよ!!」「まかせといて!!」(女子400メートルリレー)



▲「ガンバレ!!」応援にも熱が入ります

▶好勝負を展開
(男子千メートル走)



カメラ ルポ



小学校スポーツ(陸上)交歓会

昭和六十二年度町小学校スポーツ(陸上)交歓会が、九月二十八日午前九時から藤田小学校グラウンドで行われました。

藤田・小坂・森江野・大木戸の各小学校六年生全員百九十三人が参加し、男女百メートル走、男女四百メートルリレー、女子八百メートル走、男子千メートル走の各種目に熱戦を展開しました。

今回で七回目を迎えるこの大会は、まもなく中学生になる各校の六年生を一同に会し、交流を深めあい、お互いの体力の向上に努めようと始められたものです。

肌寒い日だったためか、記録的にはいまひとつでしたが、元氣いっぱい走る児童たちの姿をカメラでおいかけてみました。



▲「さあ、頑張るぞ!!」(男子400メートルリレー)



▲一斉にスタート(女子800メートル走)



▲献血に協力する皆さん (生協国見店前で)

愛の献血に 126人

九月八日、献血バスが来町し、沢屋酒店前、睦商会前、農協本所前、生協国見店前で献血活動を行いました。

今回は、目標本数百五十六本に対し献血本数百三十九本(二百cc換算)と、目標にわずかに達しませんでした。百二十六人(申し込み者は百四十九人)の方々に献血のご協力をいただきました。ほんとうにありがとうございました。

献血ありがとうございました

(順不同・敬称略)

(二校)

- 廣居重夫 佐藤照美
- 力田正二 浅野孝保
- 一條洋子 高橋正志
- 武原幸恵 高橋洋子
- 栗原英知 藤藤由紀
- 佐藤千恵子 高橋高代司
- 渡部千恵子 後藤忠一
- 大泉光子 沢藤みよ子
- 引地正憲 高橋勝美
- 阿部節子 高橋芳子
- 佐藤盛子 伊藤光郎
- 岡田正子 石幡美紀子
- 戸田静枝 村上美紀子
- 穴内村 藤上美紀子
- 西家静枝 藤上美紀子
- 菊地光子 松浦規雄

- 佐藤秀一
- 本田タキ子 山内俊子
- 我妻初子 一條由美子
- 斎藤文子 片平雪子
- 阿部智子 亀岡正弘
- 津田次男 高橋良子
- 大久好美 武田時男
- 安藤ふく子 菊井和子
- 菊地元子 酒井勝子
- 佐藤秀昭 大沼ついで
- 瀬戸映男 藤一朗
- 相原忠明 藤義典
- 池田典生 関藤秀和
- 横山すみえ 熊田和華子
- 渡辺幸子 鎌倉
- 大宮満夫 稲村あや子
- 斎藤住子 藤七ツ子
- 斎藤直子 高橋キヨ子
- 斎藤東里子 高橋義朝
- 波辺正義 高橋智志
- 斎藤一重 沢アサ子
- 吉田光裕

- 吉田昭一 熊坂文男
- 玉手淳 菊地富紀子
- 佐藤愛子 安孫子正
- 尾形サイ
- 八巻千代子 鈴木廣茂
- 和泉トヨ 佐藤三男
- 佐藤恵美子 小柴春雄
- 大森忠治郎 鈴木俊博
- 菊地多美子 朽木好秋
- 吉田喜三 梶月辰也
- 大塚信雄 徳山晶子
- 東海林忠雄 阿部榮治
- 徳江博典 阿部芳男
- 紺野徹 紺野良一
- 佐藤智秋 黒田義雄
- 高橋芳男 菅野昭雄
- 高橋和男 松浦英一
- 東海林富子 山崎順子
- 佐藤則雄 佐藤和夫
- 遠藤義勝 佐藤孝夫
- 吉田義茂 佐藤克成
- 佐久間義寿 鈴木哲也
- 後藤浩子 鈴木哲也

次回の献血車来町予定
11月17日(火)

- 9:00~11:30 国見製菓前
- 12:00~13:00 国見タイム前
- 14:00~15:00 サービスエリア鬼わさび前
- 15:15~16:00 県北中学校前
- 16:15~17:00 藤田小学校前



佐藤美由紀さん
森山宇唐杉9 18歳

ひとこと

友人に誘われて来たんですが、私だけが献血でき、あとの二人はダメでした。高校なんかでも献血してしますので、今回で四回目です。今後もできるだけ協力します。

ふるさとの文化財

④3

西大枝古館

菊池利雄



西大枝古館要図

(国見町役場所蔵「西大枝地籍図」によって作成)

西大枝氏の居館と伝えられる古館は、西大枝の宇古館の地に位置する。

館は阿武隈川の氾濫原に臨む、標高五十一・四の川岸段丘上にあつて、氾濫原との比高は五・四をはかる。西側には貝田の畷境山嶺に源を發する牛沢川が、西根台地を下刻しながら南流し、氾濫原に流れだす谷口を狭んで、築館と相對している。

古館と築館との間には谷底平地の發達がみられ、古館の平地との比高は約六・四、急峻な、段丘崖をなしている。館地は比側の並柳と東側の堂ノ前とは平坦な地続きで、防御的な弱点となつており、水濠と土塁を設けて絶ち切り、独立丘として城郭を形成していた。館の南側は現在墓地となつており、西松寺の境内地とは段差があり水路が西に向かつて堀られていることから、かつては東西方面に土塁と水濠があつたとみられる。

この水濠と段丘崖で区画された、東西八十百、南北百十の平地が、古館の本郭であり、地続きに南に延びた、西松寺のある舌状台地面東西六十、南北七十の地に、二ノ郭を構えた複郭式の台館である。地籍図から推定される本郭の土塁(現在館に連なる土塁)と水濠(現在館の幅は約十ほどで、北側水濠の一部は最近まで池として利用されており、大手口は館の東北部に

構えられていた。

西大枝氏は家譜によれば、本姓は伊藤(伊藤氏)と云ふ。文治年間伊達朝宗に從つて関東より下向、西大枝郷を下賜されて居館(本館)を構へ、在郷の地名をもつて西大枝に改めた、伊達氏譜代の家臣である。

室町時代のはじめ、伊達大膳太夫政宗に從つて出羽国に進攻し、玉庭郷(現形勢町)等を加恩されて、天文年間(西一五)萬へ降つて、伊達植宗と晴宗が争つた天文の乱においては、嫡流の仲政・義政の父子は始め植宗方であつたが、桑折景長を介して、伊達晴宗方に転じており、仲政は乱中に死没し、子息の義政も天文二十年の最上の役に出席して戦死を遂げている。

義政の遺児松千代が家を相続し、後宗義と名を改めており、(伊達宗義)の頃西大枝氏は多くの庶流を分出し、源三・掃門・伯耆・伊勢・伊与・赤三郎・右兵衛・雅楽助・亀千代家などが確認される。(地下四線) 天正十九年(一五九一)伊達政宗の大崎移住に伴い、西大枝氏(宗義)も父祖伝来の地西大枝郷を去つて、桃生郡深谷前谷地(現形勢町)に移つており、家臣の屋敷は三十一区とある。(伊達譜)

交通安全

全国キャラバン 宮城県側から バトンタッチ

交通安全全国キャラバン隊の宮城県側から本県側への引き継ぎ式が、九月九日午後一時から役場で行われました。

このキャラバンは「みんなですすめる交通安全」をキャッチフレーズに、交通安全を普及させるため、昭和五十四年から実施しています。

本県は東北コースの六番目で、あいにくの雨で会場が役場庁舎内に変更となりましたが、県交通安全母の会連絡協議会長の山崎信子キャラバン隊長に、宮城県キャラバン隊からキャッチフレーズなどが手渡されました。

また、当町におけるセレモニーでは、町交通対策協議会会長



▲決意書を手渡す八島助役

から、国務大臣あてに決意書をおく。交通安全全国キャラバン隊へ託し、町交通安全母の会会長の斎藤ヒサ子さんが「交通安全運動を積極的に進め、事故のない生活を実現するよう努力します。」とあいさつしました。

この後、雨も上がり、午後二時から、交通安全モデル地区である藤田町内を、藤田小五・六年生協会の鼓笛隊を先頭に、交通安全協会各支部、母の会などの協力で「交通安全に心がけ、一件でも事故を減らそう」と、パレードを実施しました。

児童たちは、「藤田小賛歌」や「ビュティフルサンデー」などを演奏しながら、観月台公園までの目抜き通りをパレードしました。さらに、後方に続いた母の会役員の皆さんが、道行く人たちにチラシやティッシュペーパー、うちわなどを配り、交通安全を呼びかけました。



▲藤田小学校鼓笛パレード



貸し借り安心
メリットたくさん
活用しようこの制度

農用地流動化推進強化月間
十月一日～十一月三十日

農地を貸したら返してもらえない、また返してもらおうときには離作料を請求される、こんな心配があるため、貸してもよい農地があっても貸せないでいる人はいませんか。

でも、もう大丈夫!!

農用地利用増進事業を活用すればそんな心配をしないで、安心して農地の貸し借りができるのです。

町では、これまで十一回の公告を行いました。その結果四十六分の貸借、また所有権移転は一歩になっています。

この制度で農地を貸した場合
▼農地法の手続きがいりません
▼貸しても約束の期限がくれれば
離作料を支払うことなく確実に返してもらえます。

▼小作地の所有制限がなく、市

町村外でもOK。
▼流動化奨励金の交付や、制度資金、税制、登記、登録免許税などの優遇措置があります。

※詳しくは、農業委員、農地流動化推進員、農業委員会にご相談ください。

農地流動化奨励金交付要件一覧表

	新規	再設定	備考
農地	3年以上 6年未満	8,000円	面的集積要件を満たすものに限り
	6年以上 10年未満	20,000円	再設定の場合面的集積要件を満たすものに限り
	10年以上	30,000円	同上
受け手要件	中核農家の基準		

全国防犯運動

10月11日(日)～10月20日(火)

運動の重点
自動車盗その他
乗物盗の防止
統一スローガン
「愛車への
いたわり示す ドアロック」



電波障害に関するお問い合わせは、電波障害防止協議会へ。
福島市北五老内町一五
NHK福島放送局内
三五五一一九一

お説びと追加

先月号の三頁敬老長寿番付に、佐久間代次郎さん(第十一 89歳)が抜けていましたので、お詫びして追加いたします。

テレビ・ラジオの
電波障害防止に
ご協力を



十月は「全国電波障害一掃月間」です。

電波は目には見えませんが、テレビやラジオの放送・通信などに利用され、私たちの生活に欠かせないものとなっています。電気機器の使用技術、取り付け技術の不備、不良製品の使用、配気用品の老朽などにより電波障害が発生します。

また、ビルなどの建造物によっても電波障害が発生します。電波障害が発生したら障害原因を調査し、電波障害をなくしましょう。

税を知る

週間!!



十一月十一日から十七日まで「税を知る週間」です。国や県・市町村は、私たちが、

豊かで安定した生活ができるように、幅広い活動を行っております。税金は、このような活動のための大切な財源です。この機会に、あなたも税金の仕組みや使いみちについて考えてみませんか。

第17回国見町文化祭 ㍻～㍻

【総合展示会】 11月1日(日)～3日(火)

時間 午前9時～午後5時(3日は午後4時)
会場 町民体育館、公民館
参加 町文連各種団体・教育研究会・老人クラブ 他

※入場無料

※個人で作品を展示したい方は、10月25日まで公民館に申し込んでください。(1人2点以内)

【公開参加】

茶会…11月2日 将棋大会…11月3日 ダンスパーティー…11月8日

手芸教室…11月1日・3日 無線交信…11月1日・3日

※会場 公民館

【芸能祭】

第1部 11月8日(日) 午前10時～午後3時

第2部 11月15日(日) 午後1時30分～午後4時

※会場 公民館(入場無料)

【音楽祭】

11月15日(日) 午前10時～12時 ※会場 公民館(入場無料)

* 皆様お誘い合せの上、お気軽にご来場ください。*

佐久間政治さんに 全国表彰

昭和五十一年に、福島検察審査会の審査員として活躍され、その後、福島検察審査協会の会員として十二年間活躍し、現在、その理事を務めている佐久間政治さん(森山字宮前四七・62歳)は、このほど、全国検察審査協会連合会長から表彰状が贈られました。

検察審査会は、有権者の中から「くじ」で選ばれた十一人の検察審査員が、国民を代表して、検察官が被疑者を起訴しなかつたことの可否を審査することを主な仕事としています。

「検察審査会をよく知らない人が多いと思います。詐欺・お



▲表彰状を手に喜びの佐久間さん

予約受付中です

県民手帳、すがた、県勢要覧

町企画課では、県民手帳、県のすがた、県勢要覧の昭和六十三年版の予約申し込みを受け付けています。内容は次のとおりです。ぜひ、一家に一冊お求めください。

◆県民手帳

・使い易い月間予定表と日記

◆編

・最新の統計資料
・日常生活に役立つ便覧
・価格 三百五十円

◆福島県のすがた

・県の最新版地図(2万八千色刷)
・県のすがたを統計数値及びグラフで表示

・県内市町村ごとの統計資料が一目でわかる
・価格 三百五十円

◆福島県勢要覧

・県勢が一目でわかる総合資料普及版

・市町村・都道府県の新しい資料

・図表入りでわかりやすく解説

・価格 千三百円

お申し込みは、お近くの統計調査員または役場企画課(☎八五二一・二一内線二五三有線四一七五)へ直接か電話でお申し込みください。

戸籍の窓口

(9月受付分)

出生おめでとうございます

子の名	保護者	部落
美(なみ)	佐藤 政浩	坂南
奈緒美(ななみ)	平館 浩	東町
織(さおり)	菅野 俊光	内谷
大(まさ)	榎枝 仁	山北
あゆみ	徳江 昭一	西北
登美子(とみこ)	鈴木 耕治	内川
弘樹(ひろき)	松田 充弘	大木
政輝(まさき)	舟山 武継	大田
愛美(まなみ)	梅谷 純孝	中田
亮(りょう)	浅野 靖	中田

結婚おめでとうございます

氏名	部落
佐久間 憲一	第一
紺野 純子	山下
関根 幹夫	泉根
阿部 洋子	福島

おくやみ申し上げます

氏名	年齢	部落
沢 幸一	65	三町
佐 幸三	80	内田
岡 藤作	84	戸三
田 夕三	86	大木
澤 壽夫	56	大第
武 壽イ	85	

人口と世帯

10月1日現在(前月比)9月中のうごき

人	男 5,782人 (-5)	転入	11人
	女 6,225人 (-5)	転出	25人
口	計12,007人 (-10)	出生	10人
世帯数	2,899戸 (±0)	死亡	6人

心配ごと相談日

場所：役場二階相談室 (東側入口からお入り下さい)

時間：9時～12時

こまつたことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談下さい。秘密は絶対に守ります。

(相談員)

10月24日(土)	曳地 善作・佐藤 節子
11月5日(木)	佐久間 巖・斎藤 洋子
11月14日(土)	樋口 弘・佐久間モト



10月 神無月(かなづき)

17日(土) 貯蓄の日

18日(日) 統計の日

23日(金) 電信電話記念日

24日(土) 霜 降

27日(火) 読書週間



11月 霜月(しもつき)

1日(日) 登台記念日

3日(火) 文化の日

6日(金) 満 月

8日(日) 立 冬

15日(日) 七五三





国見町公民館
☎85-2676
(有) 4156

さわやかな汗

町民安達太良登山

九月十五日(敬老の日)公民館主催で、町民登山を実施いたしました。

心配された天候も久しぶりの好天に恵まれ、参加者二十四人は元氣よく公民館前を七時三十分に出発しました。八時三十分には塩沢温泉スキー場に到着、直ちに安達太良山頂をめざし登山を開始しました。

コースは、塩沢温泉を登山口とする湯川溪谷コースで、途中、三階滝、屏風岩を通り、くろがね小屋で休憩。その後、一路山頂をめざしました。

十二時ちよつと過ぎに、全員安達太良山頂乳首岳(一七〇〇m)に到着、山頂ですばらしい景色をながめながら楽しく昼食をとりました。

帰りは、五葉松平を通り、奥岳温泉に午後三時三十分下山、



▲まだまだ元氣です!!

公民館へと帰って来ました。登山道の岩かげに咲いていたりんどうの花やナナカマドを忘るうかべながら、参加者の皆さんは、楽しい初秋の一日を満喫しました。

ミニ運動会で交流

少年仲間づくり教室

スポーツシーズンを迎え、少年仲間づくり教室では、十月四日(日)ミニ運動会を行いました。

六月に開設したこの学級も、たくさんの友達もでき、長縄跳びや綱引き、また、やり投げなどを行い、スポーツをおし、楽しい一日を過ごしました。



▲「イチ、ニ、サン……」(長縄跳び)

テニス、卓球が優勝

伊達地方スポーツ大会

第六回伊達地方スポーツ大会が、九月六日郡内九会場で開催

されました。

この大会は、伊達地方体育協会の主催で、ソフトボール、バレーボールなど各町の予選を勝ち抜いてきたチームが出場、熱戦が展開されました。

本年はテニス競技が新たに加わり、団体戦で優勝、個人戦ダブルスでも優勝しました。

なお町の成績は次のとおり。

◇テニス

- 団体戦 優勝 国見愛好会
- 個人 男子ダブルス 優勝 高鶴光雄 佐藤光之
- 個人 女子ダブルス 第三位吉田まき子 稲村静江

◇軟式庭球

- 個人 男子ダブルス

準優勝 佐藤政弘 佐藤義則

◇卓球

- 個人 女子

優勝 斎藤ハツ子

◇剣道

- 個人

準優勝 佐久間広昭

◇バドミントン

- 団体戦 第三位 国見クラブ
- 個人男子

第三位 松浦 勇

◇バレーボール

- 男子

第三位 東北クラブ

- 女子

第三位 絵夢

野球、ソフトボールは善戦しましたが入賞できませんでした。

学習のお知らせ

◇阿津賀志学級

十月十六日(金)

◇中央婦人学級、成人学級合同

研修旅行

十月二十八日～二十九日



▲優勝した国見テニス愛好会

少年柔道大会

開催される

柔道少年の交流と、柔道の普及発展をめぐり、少年の健全な育成を念願とした、国見町少年柔道大会が九月二十七日国見町体育館で開催されました。

この大会には、福島、宮城両県を合わせ十六チーム、四百人の選手が参加して行われました。

試合は、小学生低学年の部、高学年の部、中学生の部の団体戦の、リーグトーナメント戦で、各試合とも熱戦が展開され、すばらしい大会となりました。

心身を鍛えるとともに、交流



▲熱戦を展開した少年柔道大会

の輪を広げようと、本大会の主催である国見町柔道クラブの役員の方々は、汗だくで大会を運営していました。

なお、成績は次のとおりです。

○小学生低学年の部

優勝 岩出山柔道少年団

優 勝 川崎柔道スボ少

第三位 小野柔道スボ少

” 飯坂柔道スボ少

○小学生高学年の部

優勝 岩手柔道少年団

優 勝 飯坂柔道スボ少

第三位 本宮柔道スボ少

” 白石柔道少年団

○中学生の部

優勝 一迫錬生館小山道場

優 勝 小野柔道スボ少

第三位 松川柔道スボ少

” 岩出山柔道少年団

(福島県)

(宮城県)

(宮城県)

(福島県)

(福島県)

(福島県)

(福島県)



▲会場で記念撮影

未来の東北博覧会

を見学

阿津賀志学級

阿津賀志学級では、後期研修旅行を九月十八・十九日の一泊二日の日程で実施し、杜の都仙台の港区で開催されている「『未来の東北博覧会』を見学しました。

研修旅行には、学級生六十人が参加しました。

会場は、九月二十八日に閉館となるため、予想以上の人出で混雑していましたが、学級生は、巨大なスケールで展開されている「二十一世紀の未来の未来ゾーン」で、未来社会を体験したりしながら、有意義な研修会を終えました。

スポーツだより

◆第5回町長杯争奪ゲートボール大会

とき 10月16日～17日
ところ 公民館前広場

◆第3回綱引大会

とき 10月28日(水)午後7時
ところ 国見町民体育館

出場者 町民および町勤務者で18歳以上の男女

◆都道県対抗第30回東日本縦断(青森～東京) 駅伝競走大会

とき 11月6日(金)午前10時～11時当町通過予定

◆第11回国見町内一周駅伝競走大会

とき 11月8日(日)午前10時公民館スタート 午前11時30分公民館ゴール予定
ところ 公民館前広場(町内一周を競走する)

※多くの団体、チームのご参加を期待しております。

わだ い



羽州街道入口に

標示柱

伊達政宗夫人の愛姫（めごひめ）が輿入れの時通った「小板峠」の入口に、このほど、大きな標示柱が建てられました。

町内で木工所を経営する阿部善雄さんの力作で、「国見町も伊達氏と深いかわりを持って、いることを多くの人に知ってほしい」と思いました。また、旧道は、少し急ですが、足腰の鍛練にも最適だと思います。ぜひ一度、町民の皆さんにも歩いていただきたいと思っています。」と話していました。



▲旧道入口に建てられた標示柱

東と西から

風船の便り

今年も、東と西から、ふれあいの風船が飛んで来ました。

東は、北海道函館市の赤川中学校三年の岸部愛さんが、仙台市で開催された「未来の東北博覧会」に出した「ハガキを会場内から風船につけて飛ばしたもので、九月十七日の午前中、小板字西町裏二七の佐藤トミさんが、裏の土手に飛んで来たのを見つ



▲路子ちゃんとハガキ（後方が拾った土手） ▲松本市から飛んできた風船とハガキ

け、初め味が悪く、夕方、小板小三年の路子（みちこ）ちゃんが行って拾ったものです。

西は、長野県松本市の松本短大幼稚園のやまぐちみかちゃん、九月二十七日の運動会に飛ばしたもので、その日の夕方、鳥取字堰下六の高原長吉さんの桃畑に飛んで来たのを高原さんが見つけたものです。

それぞれ、拾った方はお便りください。と書かれてあったので、町の資料などを送ったと言っていました。

パレードで交通安全を呼びかけ

小板小学校では、「秋の交通安全運動」期間中の九月二十四日、全校生百三十六人が路上に



▲パレードで交通安全を呼びかけ

出で、パレードで交通安全を呼びかけました。

午前十時半、校庭に集合した児童たちは、安藤校長や交通安全協会小板部会長の鴨田安藏さんのお話しを聞いた後、バトカを先頭に、小板―泉田方面をパレードしました。

また、交通安全協会小板部会役員や交通安全母の会、防犯協会小板支部役員などの方々の協力で、街頭で交通安全を呼びかけるチラシや風船を配りました。

鴨田惣太郎さんに総理大臣から表彰

今年の十一月二十日で満百歳を迎える鴨田惣太郎さん（内容字西脇三三）に、総理大臣から賞状と記念品（銀杯）が贈られました。



▲表彰状を受ける鴨田さん

今年の四月から来年の三月まで、百歳になられる方を対象に、敬老の日になんで贈られたものです。

九月十八日、福島県社会福祉事務所の星次長、横田主査が賞状と記念品を手にとり鴨田さん方を訪れました。町からは、町長職務代理者の八島助役、松浦住民課長がお祝いにかけつけ、「いつまでも長生きしてください」と激励しました。

編集日記

○十月に入り、いよいよ秋本番を迎えました。さわやかな秋空の下で、今稲刈りが行われています。今年は、長雨や台風などの影響で、稲がだいぶおされているようで、稲刈りもなかなか大変だったことと思われます。○今年もキノコが豊作のようで、マツタケやシメジなどを採ったの話があらちで聞かれます。日曜日ともなれば、山はキノコ採りの人たちで、まるでお祭りのようとのこと。マツタケとまではいかなくとも、これからするムラサキシメジなど、手軽に採れるキノコもたくさんありますので、森林浴をかね、家族で出かけてみてはいかがでしょうか。（佐）